看護倫理学

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座　遠藤　太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座、共通基盤看護学講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義　12 時間
期　　間	前期		
単位数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

看護ケアの原理の 1 つである人間の尊厳と権利の擁護は、実践の基盤となるものである。この理念の実現には看護者の高い倫理観が求められる。倫理観の形成には、生命倫理、医療倫理に関する理論や原則、看護実践に伴う倫理的概念やそれと矛盾する事態を洞察しなくてはならない。そのため学生が実習等で出会った倫理的問題を事例として、学生自らの問題として事態の性質を分析し、倫理的問題解決を探ることで、専門職としての主体的な行動能力と責任感について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

倫理的意思決定がよりよく行えるよう、看護倫理のアプローチ法である「徳の倫理」「原則の倫理」そして、「ケアの倫理」の視点などにより多角的に考え、自らの倫理観を高めることができる。同時に、学生同士でディスカッションを行い、多様な意見や価値観に触れることで、患者の権利や価値を大切にした倫理的意思決定を行う上での視野を拡大することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：1，2，3

・到達目標（SBO）

1.「倫理」の語義及び定義から、「倫理とは何か」について説明できる。
2. 看護倫理を「原則の理論」「徳の理論」「ケアの理論」の側面から説明できる。
3. 医療専門職者の役割の本質について、倫理綱領を用いながら説明できる。
4. 医療及び看護における日常の倫理的問題の特性について説明できる。
5. 臨床や地域において、現実に起きている倫理的問題にどのように向き合うべきか考え、倫理的感受性を育んでいく必要性について説明できる。
6. 看護学実習における「日常の倫理」の解決方法をディスカッションの中から探ることができる。

・授業日程

（矢）マルチメディア教室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/13 (木) ４限	地域包括ケア講座 遠藤　太　教授	【看護倫理学とは何か】 ・倫理の語義及び定義を学び、倫理学の成り立ちと概念について説明できる。 ・看護倫理を学問として体系的に学ぶ意義を理解できる。
4/18 (火) ４限	地域包括ケア講座 遠藤　太　教授	【看護倫理のアプローチ①】 ・看護における倫理的課題を「徳の倫理」「原則の倫理」の視点から考え、看護師が倫理的意思決定に至る過程を理解できる。
4/26 (水) １限	地域包括ケア講座 遠藤　太　教授	【看護倫理のアプローチ②】 ・看護における倫理的課題を「ケアの倫理」「ケアリング」の視点から考え、倫理的意思決定に至る過程を理解できる。
5/11 (木) ４限	地域包括ケア講座 遠藤　太　教授	【看護におけるアドボカシー】 ・パターナリズムや権利侵害等、医療における倫理的問題における看護アドボカシーの必要性と看護の倫理的責任について理解できる。
5/25 (木) ４限	地域包括ケア講座 遠藤　太　教授 共通基盤看護学講座 伊藤　奈央　講師	【看護倫理ケーススタディ①】 ・事例を用いて倫理的意思決定過程を実践できる。 「人生最終段階の看護倫理」
6/1 (木) ４限	地域包括ケア講座 遠藤　太　教授 熊地 美枝 准教授	【看護倫理ケーススタディ②】 ・事例を用いて倫理的意思決定過程を実践できる。 「地域看護と倫理」「小児看護と倫理」
6/15 (木) ３限	地域包括ケア講座 遠藤　太　教授 熊地 美枝 准教授 高崎　邦子　講師	【看護倫理ケーススタディ③】 ・事例を用いて倫理的意思決定過程を実践できる。 「精神看護と倫理」
6/15 (木) ４限	地域包括ケア講座 遠藤　太　教授 熊地 美枝 准教授 高崎　邦子　講師	【倫理カンファレンス：全体ディスカッション】 ・看護学生が看護学実習において体験する「日常の倫理」について、全体でディスカッションすることができる。 ・看護倫理を自らの身近な問題としてとらえ、表現できる。

・教科書・参考書等
教：教科書　　　参：参考書　　　推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護倫理　よい看護・良い看護師への道しるべ	小西恵美子編	南江堂	2021

・成績評価方法

1. 定期試験時は、筆記試験をおこなう（記述と多肢選択）。
2. Portfolio の完成度と利用度（初回授業時にルーブリック評価表を提示する）を評価する。
3. 筆記試験７割、Portfolio 評価を 3 割として最終評価とする。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】
事前学修は、所定の事前学修シートに提示された keyword を調べてまとめておくこと。各回最低 30 分を要する。
また、事後学修は、授業で配布する事後学修シートに、各授業回の学修の要点をまとめる。各回最低 30 分を要する。
事前・事後学修シートは Portfolio に綴じておくこと。
授業中に映写するパワーポイント資料は WebClass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

【授業におけるレポート等の課題に対するフィードバック】
・リアクションペーパーは、次回の授業においてコメントを付すなどしてフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師（別表 3）：専門分野Ⅰ　基礎看護学

【その他】
各回講義の中で、テーマに基づくディスカッション（グループワーク等）の機会を設け、または ICT の利用によるアンケートフォーム（Custom form®）を通して、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影